

平成 2 9 年

第 2 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 9 年 6 月 2 日

平成29年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇新年度スタートについて

市内の小・中学校12校は、4月5日に始業し、6日から10日にかけて小・中学校の入学式が予定通り実施されました。小学校7校の児童数が1,115人(前年度1,170人、前年度比55人減)、中学校5校の生徒数が588人(前年度615人、前年度比27人減)、計1,703人(前年度1,785人、前年度比82人減)で新学期がスタートしております。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月18日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科については、国語及び算数・数学の知識と活用に関する調査が、また、生活環境や学習環境等については、質問紙による調査が行われました。この調査は全国の国公私立の全小中学校の児童・生徒が対象で、本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

◇仙北市育英奨学資金の貸与者・免除者の決定について

平成29年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、高校3人、専門学校9人、短大1人、国公立大学14人、私立大学16人、大学院2人の合計45人(昨年度35人)の申請がありました。

4月25日に、仙北市育英奨学資金運営審議会(市内中学校長・高等学校長、学識経験者、地域センター所長等8人)を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された45人全員が平成29年度奨学生として、教育委員会に答申され、4月27日の教育委員会定例会において答申通り決定されました。

また、この審議会においては、平成28年度「仙北市育英奨学資

金償還金免除」についても審議され、申請された44人全員が仙北市に住所があり居住し、就労しているという条件に適合するため、平成28年度分の償還金免除が決定されました。

◇第23回秋田県ソフト大賞について

秋田県情報産業協会主催「第23回秋田県ソフト大賞」の結果が3月に発表され、西明寺小学校6年門脇時男（ときお）さん（現在、西明寺中学校1年）の「蜂の巣駆除ドローン」という作品が優秀賞を受賞しました。この賞は、未来の人材育成を積極的に進め、地域社会を活性化させていくことを目的に、県内小中学生から未来の生活の中で、実現できたらいいなと思う夢のアイデアを募集するものです。西明寺小学校では、「ドローンを使って仙北市民の笑顔を増やすにはどうしたらよいだろうか」というテーマでドローンを用いたプログラミング学習を行っており、その学習の一環として応募したものです。

西明寺小学校からは、この他に7人の児童が入賞しました。

◇大曲仙北中学校春季大会の主な結果について

平成29年度大曲仙北中学校春季大会が開催され、市内中学校の選手は、冬場に鍛えた練習の成果を遺憾なく発揮して大活躍いたしました。

4月22日から30日にかけて、神岡野球場などで開催された野球大会では、強豪がひしめく中、ベスト4に仙北市の3中学校（神代、角館、西明寺）が残るという大活躍を見せてくれました。

準決勝では、神代中が西明寺中に2－1で勝利し、角館中は大曲中に4－9で惜しくも敗れました。決勝では、神代中学校が大曲中学校に1－4と惜敗し、準優勝となりましたが、見事全県大会への出場を決めました。

5月3日、角館武道館で開催された柔道大会では、角館中学校柔道部が男子団体戦決勝トーナメントにおいて、仙北中に4－0、大

曲中に5－0で勝利し、優勝しました。神代中学校柔道部も男子団体戦で3位となり、角館中学校とともに全県大会への出場を決めました。

その他に、角館中学校女子卓球部が団体3位となり、個人では男子卓球で神代中学校の細川羽琉（うりゅう）さん、女子卓球で角館中学校の浅利天夢（あむ）さん、男子テニスで角館中学校の茂木・村瀬ペアが全県大会出場を決めております。

◇全県中学校春季大会の主な結果について

平成29年度全県中学校春季大会が開催され、神代中学校野球部が見事全県優勝に輝きました。神代中学校は、1回戦は桜中に3対0、準々決勝は、象潟中に2対1でサヨナラ勝ち、準決勝は、山内中に2対1の逆転サヨナラ勝ちと勢いに乗り、決勝は、初回4点、2回に2点を挙げ、八竜中に6対1で圧勝し、見事初優勝を飾りました。平成27年度の角館中学校野球部の全県優勝に続いての快挙となりました。

また、柔道男子団体では、角館中学校が大活躍しました。2回戦は飯島中に4対0、準々決勝は五城目一中に3対0で勝利し、準決勝では御野場中に1対3で惜敗しましたが、シード決定戦で羽後中に2対1で勝利し、見事、第3位となりました。

この他に、個人では、生保内中学校 三浦 悠（ゆう）さんがバドミントン男子シングルにおいて第3位の成績を収めております。

【生涯学習課】

◇花いっぱい運動推進事業について

5月28日、西木町地区の国道105号沿い道路花壇において、「にしきのフラワーロード105一斉植栽」が行われました。

今年は、西明寺中学校全校生徒をはじめとする地域住民が約300人と、昨年よりも多くの参加者を得て実施することができました。

この一斉植栽は、国道105号沿いおよそ4.6km間の両側の道

路花壇（総延長9.2km）にマリーゴールド約59,000本余りを植栽する事業で、仙北市の風物詩として定着しており、今年も夏から秋にかけてドライバーの目を大いに楽しませてくれることと期待しています。

また、同日西木庁舎駐車場において、市内で花苗の販売をしている業者の出店による「花の市」が開催されました。今年も会場には様々な花苗や山野草等が並べられ、買い求めるお客様が多く訪れ大いに賑わいました。

また、この事業の一環として、市内保育園や小中学校、地域等で植栽を希望する集落や団体へのマリーゴールドの配布も行っております。さらに、昨年に引き続き、個人や団体、企業等で花壇など花作りをしている方々からご応募いただき、「花のある街づくりコンクール」を、応募期間を2か月拡大して開催します。

今後とも市民が花に親しみ、明るく住みよいまちづくりができるよう、さらなる事業の推進を図って参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇高井有一先生の直筆原稿、蔵書の寄贈について

3月8日に、新潮社記念文学館名誉館長の故高井有一先生が生前所有されていた直筆原稿や蔵書、書棚などを、夫人の中村輝子様よりご寄贈いただきました。155箱にも及ぶ貴重な品々は、現在、学習資料館で保管整理しているところであり、今後「高井有一文庫」としてコーナーを新設して展示し、市内外の多くの皆様にご覧いただく予定です。

◇写真展「新潮社写真部のネガ庫から カメラがみた作家の素顔」について

4月8日から7月17日まで、新潮社記念文学館において、川端康成や三島由紀夫など著名な作家の素顔をとらえた写真展「新潮社写真部のネガ庫から カメラがみた作家の素顔」を開催しています。

新潮社写真部が保管してきた15万2,300本のネガの中から厳選された50人49枚の写真には、説明文とともに当館が所有する複製原稿や図書を添え、近代から現代の作家と作品に親しめる展覧会となっています。期間中は、故高井有一先生の写真も特別に展示しており、市民をはじめ、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

【スポーツ振興課】

◇チャレンジデー2017について

5月31日、「スポーツで明るく元気な仙北市に」をスローガンに、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2017」が開催されました。

今年の特対戦相手である大村市とは、大村市市制執行75周年記念として、また両市の交流事業の一環として、チャレンジデーのカテゴリーを超えた姉妹都市対決となりました。

当日は天候に恵まれ、花葉館グラウンド・ゴルフ場でのオープニングセレモニーを皮切りに、メイン競技のグラウンド・ゴルフのほか、角館町歩こう会、田沢湖歩こう会によるウォーキングや仙北市合同武術太極拳交流会、各地域の総合型スポーツクラブや団体での参加型メニューにより、たくさんの市民の皆様にご心地よい汗を流していただきました。

今回で7回目の参加となりましたが、より多くの市民の皆様に参加していただくため、各町内会の代表の方々から参加票の回収についてご協力をいただき、過去最高の参加率55.7%を記録し、目標としていた金メダルを初めて獲得することができました。

対戦相手の大村市の参加率は64.5%で、残念ながら上回ることはできませんでしたが、大村市とは、姉妹都市としての交流はもとより、チャレンジデーを一つの契機として、さらなる人的、文化的相互交流を図りたいと思っております。

チャレンジデーを通じての健康づくりや生涯スポーツのきっかけ

づくりは、少しずつではありますが浸透してきているものと捉えています。明るく元気なまちづくりのためにもこのイベントを継続し、機運を盛り上げて参ります。

【文化財課】

◇桜の状況及び武家屋敷公開事業について

今年の桜の開花状況については、4月に入ってから気温の低い日が続いたことから、昨年より5日ほど遅い4月19日に武家屋敷通りのシダレザクラが開花し、24日に満開、桧木内川堤のソメイヨシノは24日に開花し、28日に満開となりました。開花後も気温の低い日が続いたため、開花期間が例年よりも長く、ソメイヨシノは5月3日まで楽しんでいただくことが出来ました。

また、4月8日から重要伝統的建造物群保存地区の「岩橋家」「河原田家」「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めております。

なお、河原田家については、年次計画で修復工事を行うことになっており、今年度は主に屋根の修理工事を行います。工事期間中は安全対策のため公開を制限いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【平福記念美術館】

◇小松ひとみ写真展「桜逢瀬」「みちのく色語り」について

4月18日から5月31日まで、仙北市角館町出身で、現在は秋田市に事務所を構えて精力的に制作活動を行っている写真家、小松ひとみさんの写真展「桜逢瀬」「みちのく色語り」が開催されました。

ふるさと秋田を始め日本全国の桜の作品を中心に、「みちのくの色」をテーマに撮影された多数の作品が展示されました。

小松さんの地元で初めての開催であり、さくらまつりの開催期間中ということもあって、5,753人の皆様にご来館いただき、盛況を博しました。

◇「伊藤昇日本画展」について

6月8日から7月27日まで「伊藤昇日本画展」を開催いたします。

1912年(明治45年)仙北市田沢湖田沢に生まれた伊藤昇(のぼる)は、旧制角館中学校の第1期生で、平福百穂の最晩年の弟子としても知られております。

1993年(平成5年)に、長年暮らした神奈川県鎌倉市で81歳の生涯を閉じましたが、昨年ご遺族より当美術館に長年寄託されていた伊藤昇作品に加え、鎌倉で保管されていた作品をまとめてご寄贈いただきました。

日展、日春展等への出品作を始め、暮らしていた鎌倉の風景、身近にある花や生物を描いた作品を大小織り交ぜて、様々な伊藤昇の日本画の世界を紹介する企画展となっております。

展覧会を通し、市内外の多くの皆様に、伊藤昇という日本画家の素晴らしさを知っていただきたいと思っております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。